

令和7年度 千葉市立葛城中学校 学校評価アンケート集計結果と今後の改善について（報告）

1 生徒のアンケート結果から

項目19「いじめの定義を理解し、他者を傷つけないよう行動する」、22「交通ルールや交通マナーを守って行動する」の評価が高いことから、規範意識が高い生徒が多いと考えられます。また、8「学習内容でわからないことを質問した時、先生はていねいに教えてくれる」、17「先生は、あなたの話を聞いてくれる」が年々高くなっており、生徒と教師でより良い関係が築き上げられてきていることが垣間見られます。

一方で、4「(授業で)自分の意見や考えを発表する」、9「予習・復習など家庭学習に取り組む」が低く、自分の思いや考えを表現することや家庭学習への取組が課題となっています。今年度は各教科において、知識・技能の定着、家庭学習の習慣化を図る取組を継続して取り組んできましたが、今年度の反省をもとに、より向上するように改善を図ってまいりたいと考えます。

2 保護者の学校関係者評価結果から

生徒のアンケート同様に、11「学校の決まりを理解して学校生活を送る」、18「交通ルールやマナーを守って生活する」の評価が高く、規範意識の高さがうかがわれます。また、6「本校は『学校いじめ防止対策基本方針』にのっとり、生徒指導やいじめのない集団づくり、よりよい人間関係づくりへの取組がしっかりとなされている」、7「本校は、生徒の問題行動や教育相談に関して、家庭と協力して指導支援を行っている」、8「本校の職員は、生徒の悩みや相談に応じている」等の項目で、年々高くなってきており、職員の生徒に対する姿勢が肯定的にとらえられてきていることは大きな成果です。一方で、学習に関する項目は総じて低い結果となり、特に4「自ら進んで家庭学習に取り組む」、5「学校での学習内容を理解する」ことに課題が見られます。各教科において今年度の取組を検証し、わかる授業の推進をすべく、研鑽を積んでいきたいと考えます。

3 職員アンケートの結果から

生徒指導や教育相談（項目9-1～9-7）については、「誰一人取り残さない」を合言葉にきめ細かな対応を心がけており、自己評価も高くなっています。また、保健指導や安全指導（項目12-1～13-4）も高く、「安全・安心な学校づくり」に向けて全職員で取り組んでいることの表れです。一方で、学力向上アクションプランに基づいた学習指導（5-2）や小・中連携（17-5）、働き方を意識した仕事の効率化（18-3）については低い自己評価となっており課題です。

この職員アンケートを受けて、本校では11月から次年度へ向けた対策会議を行っています。また、制服検討委員会や校則検討委員会など特設の委員会を立ち上げ、多くの職員が学校運営に主体的に携わるようになっていきます。現在本校では、これらの会議や委員会を通じて、より良い学校運営ができるよう改善案について協議を重ねています。